

## 第29・30回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— テーマ：薄鋼板製造技術の最近の進歩 ——

主催 日本鉄鋼協会

第29・30回西山記念技術講座を下記により開催いたしますので、多数ご来聴下さるようご案内いたします。

### I 第29回 (東京)

- 1) 期日 昭和49年11月27日(水)、28日(木)
- 2) 会場 経団連会館 10階 1001号 (千代田区大手町1-9-4 TEL 03-279-1411)

### II 第30回 (大阪)

- 1) 期日 昭和49年12月10日(火)、11日(水)
- 2) 会場 日本生命中之島研修所講堂 (大阪市北区常安町29, TEL 06-443-3131)

### III 演題ならびに講師

第1日	9:30~12:00	薄鋼板の用途と品質	川崎製鉄(株)	三輪親光
	13:00~15:00	最近の薄鋼板製造技術における研究成果	東京大学	木原諄二
	15:00~17:00	熱延鋼板製造技術の最近の進歩*	住友金属工業(株)	岡本豊彦*
第2日	9:30~11:00	冷延鋼板圧延技術の最近の進歩	日本鋼管(株)	有村透
	11:00~12:30	冷延鋼板の焼鈍法に関する最近の進歩	新日本製鉄(株)	武智弘
	13:30~16:00	表面処理鋼板製造技術の最近の進歩*	東洋鋼板(株)	安藤卓雄*

(\*印 東京会場では岡本講師は第2日(28日)に、安藤講師は第1日(27日)に変更いたします)

### IV 講演内容

#### 1. 薄鋼板の用途と品質 三輪親光

わが国の薄鋼板は品質のよいものを大量に安価に生産するための不断の努力により、その生産量は現在では約3000万tに達し、鋼材生産量の約1/3を占めている。

ここでは、薄鋼板の規格、自動車・電気機械器具・容器などの用途により要求される品質、その市場およびそれらの要求を満たすための、熱延および冷延薄板・表面処理鋼板の製造法とその発達について、普通鋼を中心に述べてみたい。

#### 2. 最近の薄鋼板製造技術における研究成果 木原諄二

通常の熱延帯鋼または冷延帯鋼が生産されている工程のうち、分塊圧延あるいは熱間粗延以降の工程に関するシステム工学的研究の紹介、熱間圧延における変形抵抗と圧延理論に関する研究成果、冷間圧延における変形抵抗と圧延理論に関する研究成果、スキンパス圧延あるいはDCR圧延に関する研究成果、コントロールドロリングと優れた熱延高張力鋼の生産技術に関する研究成果、高成形性材料の生産技術に関する研究の紹介

#### 3. 熱延鋼板製造技術の最近の進歩 岡本豊彦

最初に、ホットストリップミル設備全般の現状での概要につき述べると共に、次に圧延能力、圧延技術の向上を目指して今後更に改良が予想される設備関係について、その基礎的、理論的背景と今後の動向につき考察する。

また、近年めざましい進歩を遂げたミルの自動化技術のうち、主として自動板厚制御(AGC)と計算機制御(Computer Control)並びにスプレー冷却設備および制御方法についての現状並びに将来進むべき方向について説明する。

#### 4. 冷延鋼板圧延技術の最近の進歩 有村透

薄鋼板の冷間圧延法の進歩について設備、操業、研究開発の展望を示す。特に圧延の高速化に伴う圧延油の改良、自動化においてはAGCなどの制御システム、計算制御、二回圧延法などの新しい設備について国内外の圧延法の動向を示す。

また形状制御などの将来技術の動向についてもふれ、高速化、自動化、大型化、高精度化などの将来方向を推測する。